

令和5年度 シラバス (芸術科 美術Ⅱ)

芸術	必修選択	科目名	美術Ⅱ					
使用教科書		高校生の美術2 (日本文教出版)						
履修学年		第 2 学年	履修単位		2 単位			
学習の目標	美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を育成する。							
評価基準 及び方法	①知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。</li> <li>創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を創意工夫し、表している。</li> </ul>						
	②思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生成し発想や構想を練り、美術や美術文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。</li> </ul>						
	③主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>美術や美術文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。</li> <li>生涯にわたり美術を愛好する心情を育み、感性と美意識を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。</li> </ul>						
	表現活動への取り組み姿勢・作品・ポートフォリオ提出・単元テストなどで総合的に評価。							
その他留意点	用具の扱い方には十分に気を付け、安全教育を徹底する。							
月	内容・考査など	学習内容及び教材など			①	②	③	時間
4	○オリエンテーション	・年間の学習計画や学習内容を学ぶ。(美術Ⅱの概要)					○	2
5	○絵画 (水による演出)	<ul style="list-style-type: none"> <li>水彩絵の具についての基礎的スキルを習得し、表現に生かす。</li> <li>遠近法を効果的に用いた風景を撮影し、表現する。</li> </ul>			○	○	○	4 10
6	○鑑賞 (琳派)	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書の作品から、「なぜ水を感じる作品かを考えさせ、自身の表したいテーマに生かす。</li> </ul>			○	○	○	
7	○デザイン (情報を伝えるデザイン)	<ul style="list-style-type: none"> <li>単純化や大胆な構図など表現の良さや特性を理解し、味わう。</li> <li>琳派の継承・発展の特徴を知り、その多岐にわたる創作と田中一光の作品から鑑賞する。</li> <li>色彩理論をおさえて、場面を想定し、形や色彩、文字などの効果を生かし、伝えたい情報を的確に伝えるためのデザインを表す。</li> </ul>					○	2 2 8
9	○鑑賞 コンピューターを活用した表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>形や色彩、動きなどコンピューターによる映像表現の特性、作者の意図と演出に着目して作品を鑑賞する。</li> </ul>				○	○	2 10
10	○彫刻 ボックスアート	<ul style="list-style-type: none"> <li>材料の特性を生かし、表現方法を創意工夫しながら主題を生成し、箱という限られた空間に思いを表す。</li> </ul>			○			16
11	○鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> <li>高村光太郎に焦点を当て、明治以降の日本の近代彫刻の考え方や表現の変化、詩集「智恵子抄」など国語との関連も持たせて「表現」について考える。</li> </ul>				○	○	4
12	○単元テスト					○	○	
1	○複数の写真で表す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>時間の経過や情景の変化など複数を組み合わせることで可能な表現を考え発表する。</li> </ul>				○	○	6
2	○単元テスト							2
3	○芸術発表にむけて ○まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>芸術発表に向けて、作品の額装や修正、キャプションの準備をして発表に備える。</li> </ul>					○	2 2